

令和3年度 事業所向けアンケート

回答数：7枚配布中7枚回答 アンケート配布期間：7月20日～8月31日

アンケート集計日：11月3日

令和3年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 集計結果

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	0	・プログラムによって活動部屋を分けている
	2	職員の配置数は適切であるか	5	2	0	・ <b>男性不足を感じる</b> ・配置基準は満たしているが、 <b>支援の質の保障までは難しい</b> ・外部と連携していこうと思うと非常勤が現状より1~2名必要
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1	0	・平屋だが、建物内に段差がある個所もある
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか	7	0	0	・法人の人事考課を実施し始めた ・ <b>法人でICTを活用し始めている</b>
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1	0	
	6	自己評価の結果を事業所の会報やHP等で公開しているか	6	0	1	・ <b>非常勤なのでわからない</b>
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	4	未記入1名 ・実施していない
	8	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2	1	・ <b>非常勤なのでわからない</b> ・年1回以上研修を受講してもらっている。 ・それぞれの職員に応じて研修を通してスキルアップを図っている ・ <b>年1回研修を受講しているが、受けたい研修をすべて受けられるわけではない</b>
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	・定期的に会議を行うことで共有している ・半期に1度面談を行っている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	0	未記入1名
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	0	・月1回の素案決め、月2回の内容決めの会議を行っている
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	6	1	0	・毎月違う内容のプログラムを提供している ・大枠は変えていないものもあるが、中身を変化させている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定し、支援しているか	7	0	0	・送迎を利用者に合わせてスポット送迎を行っている ・長期休みなどには「自力」で来所や退所するなど設定している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	・プログラムによってチーム活動にしている
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	・毎回行えている ・非常勤も含め、定刻に設定している ・当日に非常勤も交え必ず実施。できない時は、支援ノートで把握に努めている

	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りをし、気づいた点等を共有しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日又は翌日に実施している</li> <li>・送迎があるため、放課後は翌日に行えている</li> </ul>
	17	日々の支援に関して正しく記録を取ること徹底し、支援の検証、改善につなげているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りをメモ（記録）している</li> <li>・ヒヤリハットの会議を月1回行い改善に繋げている</li> </ul>
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用することで共有がスムーズになった</li> </ul>
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤の入れ替わっているので、改めて周知が必要</li> <li>・スタッフが変わってもベースが下がらないようマニュアルが必要</li> <li>・アルバイトなのでよくわからない</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管に限らず一般職員も状況に応じて参画できている</li> <li>・現場職員も担当者会議に参画している</li> </ul>
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡を適切に行っているか、	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ終息に向けて学校訪問などの準備を進めていく必要がある</li> <li>・学校訪問に行けていないが、送迎や行事の確認を電話で確認したり、送迎時に教員と情報共有できている</li> </ul>
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	1	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当者が在籍していない</li> </ul>
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等の間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	2	
	24	学校を卒業し、放デイから障害福祉サービス等へ移行する場合それまでの支援内容等の情報を提供しているか	3	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内のケースでは実績あり</li> </ul>
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の受講はしている</li> </ul>
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により実際の交流が行えていない</li> </ul>
	27	自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職員が参加している</li> </ul>
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の記録や送迎時の共有だけでなく、年2回の面談を実施</li> <li>・活動日の連絡票に記入することで共有できている</li> </ul>
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	2	4	1		
保護者への説明	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談や連絡票を通じて保護者との情報共有を行えている</li> </ul>
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所見学や茶話会、イベントを通して保護者同士の連携機会を設けることができた</li> <li>・規模を縮小しながらも茶話会を行った</li> </ul>
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同僚又は上司へ報告し、改善策を考えられている</li> </ul>

明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の予定表配布、ブログを月1回更新している</li> <li>・保護者専用のLINEアカウントの開設、実用</li> </ul>
	35	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じてルビを振るなど読みやすい書類作成</li> <li>・コミュニケーションに課題を抱える方に対する支援の質の向上が必要</li> </ul>
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナのため、公民館の利用が出来ていなかったり、地域のイベントに参加できていなかった</li> </ul>
非常時対応	38	緊急時対応、防犯、感染症対応の各マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談時に伝えたり、用紙を配布することで周知している</li> <li>・データが古く、マニュアルが分かりづらい</li> </ul>
	39	非常災害の発生に備えて定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に1度実施</li> <li>・可能な時は生活介護事業所と共同で行っている</li> </ul>
	40	虐待防止のため職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の会議を行っている</li> </ul>
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象児が在籍していない</li> </ul>
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回会議を行い、改善策を考案し実行できている</li> <li>・非常勤への周知が行きわたらないこともある</li> </ul>

緑は良い意見

赤は今後改善や工夫をしていく必要がある意見

#### 課題と今後の対応

人員確保及び支援の質の保障について

- 1 現場の常勤職員が全員女性という面から、思春期における支援として同性介助を行うのが常時行えていない。また、個別ケアを要する利用者への支援の質を保障していくためにも、現状よりも非常勤職員を1~2名増やせるよう人材確保に力を入れていく。

情報開示、共有について

- 2 職員内でも業務や支援の知識について偏りがあるため、統一した支援を常時行えるよう研修の周知、受講を勧めていく。それと併せて、非常勤職員も行える環境づくりを行っていく。また、学生アルバイトが1~3年で入れ替わっていくこともあり、新規雇用者向けの講習体制を図れるようにする。

コロナウイルス感染終息後の事業運営について

- 3 感染防止の観点から中断していた学校訪問や地域公共施設の利用、職場体験の再開に向け、体制を整えていく。必要に応じてICTを取り入れ、今までと違う方法での連携についても同時に検討していく。